

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	186	男女共同参画講座事業経費	会計	01	一般会計
基本施策	41	あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる	款	02	総務費
			項	01	総務管理費
			目	19	男女共同参画費
担当部課名	大山田支所 人権同和課		細目	101	男女共同参画推進経費
作成者氏名	重本 敏昭	連絡先	細々目	03	男女共同参画講座事業経費
		46-0140			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	伊賀市民(男女を問わず)	男女の固定的な役割分担意識にとらわれず、男女がお互いを認め合い、それぞれの個性と能力を十分発揮できるような社会が実現する。
本年度事業内容	1. 家庭、職場、地域など社会の中における男女の固定的な役割分担意識や慣習・制度を見直す「セミナー」を開催する。 2. 他の講座とタイアップして、幅広い層の市民を対象としたセクシュアル・ハラスメントを防止するための研修を開催する。	
開始年度	平成 16 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		伊賀市男女共同参画推進条例

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)	事業費(B)	55	53	53
	委託料			
	報償費	50	50	50
	負担金			
	その他	5	3	3
	合計(A+B)	3,655	3,653	3,653
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	3,655	3,653	3,653
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値	目標値	
		H17	H18	H19
「男女共同参画推進セミナー」の開催数	回数	2	2	2
「男女共同参画推進セミナー」の参加者延べ人数	人	250	260	270

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
セミナー参加者延べ人数	参加者の理解度を指数とすべきだが、把握が困難なため本指標を採用する。	人	250 目標 ()	260	270
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

大山田村では平成10年度に三重県と「男女共同参画推進地域セミナー」を共催して以来、年間2回以上のセミナーを続けてきた。しかし、男女共同参画社会の実現のためには、市民の意識改革が必要であるため、長期的に事業を推進していく。

評価	必要性	4	男女共同参画社会の実現に向けて市民の意識向上に努めるには、セミナー開催は有効な手段ではあるが、開催回数、地域が限定されてしまうため、広がりに乏しい。その問題点を解消するには、市の中で行われる各種講座と連携して共同開催をし、学習機会の確保に努めて行く。	総合評価
	有効性	3		B
	達成度	2		
	効率性	3		